## USBドライバインストール後、モデムとの通信がうまくいかない場合(Windows Me)

2009 年 8 月 31 日 日本無線株式会社

- 1.AH-J3001V/AH-J3002V/AH-J3003S(以下、本電話機)とパソコンを USB 接続します。
- 2.「スタート」「設定」「コントロールパネル」を開きます。



3. 下記画面の<u>「モデム」</u>アイコンをダブルクリックします。



4.モデムのプロパティが表示されますので、検出結果タブをクリックします。

モデムのプロパティ	? ×
全般 検出結果	
検出されたポートとインストールされているデバイス:	
ポート インストールされているデバイス プログロ モデムはインストールされていません 〇 COM3 IBC USB Modem	
ドライバ(D) 詳細(M) ヘルプ(H)	
OK	214

5.「JRC USB Modem」に割り当てられている COM 番号(COM3)をクリックした後、「詳細」をクリックします。

モデムのプロパティ	? ×
全般 検出結果	
検出されたボートとインストールされているデバイス:	
ポート インストールされているデバイス	
COM1 モデムはインストールされていません	
ドライバ(①)【詳細(M)】へルプ(H)	
OK キャン	ยน

6. 下記のような詳細情報が取得できたかどうかを確認します()。

¥	希田		
	_ポ~	-トの情報	
	7	₭ <u>~</u> ト:	COM3
	ti la	割り込み:	
	Ţ	ወドレス :	
	L	JART:	
	ł	最高速度:	115K ボー
		0. UOD M. I	
	- JR s	USB Mode #PUZ · I	8M
	ō	載5小丁: し 	J3B#U3R0090
		コマンド	応答
		ATT1	OK
		ATT3	JBG
		ATI4	AH-J3002V
		ATI5	2003/00/00 Ver. 1.00
		ATI6	0700000000
		AT+FCLA	ERROR
		I	
			OK

コマンド ATI4 ~ ATI6 に対する応答については、お使いの電話機により異なりますが、上記のような詳細 情報が取得できれば、モデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。ここで詳細情報 の取得が出来なかった場合は、次の手順へ進んでください。 7.マイコンピュータのアイコンを右クリックし、プロパティを左クリックします。



8.システムのプロパティ画面が表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、<u>「仮想赤外線ポート</u> (COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」、「赤外線通信デバイス()」が存在するかどうかを確認します。

システムのプロパティ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
全般 「デバイス マネージャ」ハードウェア プロファイル   パフォーマンス
<ul> <li>● 種類別に表示(①)</li> <li>● 接続別に表示(②)</li> </ul>
<ul> <li>■ ■ ネットワーク アダプタ</li> <li>■ ● ハード ディスク コントローラ</li> <li>■ ● フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>■ ● ポート (COM / LPT)</li> <li>■ ● JRC USB Ports</li> <li>● フリンタ ポート (LPT1)</li> <li>● 仮想赤外線 COM ポート</li> <li>● 仮想赤外線 LPT ポート</li> <li>● 仮想赤外線 LPT ポート</li> <li>● 変 プロス</li> <li>■ ● モニタ</li> <li>■ ● ホ外線通信デバイス</li> </ul>
プロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)
OK キャンセル

## 表記が異なる場合もあります。

上記画面とは違い、「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」、「赤外線通信デバイス」が 存在していない場合は、電話機から USB ケーブルをはずし、<u>パソコンの再起動</u>を行った後、再度電話機に USB ケーブルを接続して<u>手順17</u>へ進んでください。 9. 「仮想赤外線ボート(COM)」を右クリックし、プロパティを開きます。

システムのプロパティ	×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス	
<ul> <li>● 種類別に表示(T)</li> <li>● 接続別に表示(C)</li> </ul>	
<ul> <li>■● ネットワーク アダプタ</li> <li>● ● ハード ディスク コントローラ</li> <li>● フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>● フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>● プロッピー ディスク コントローラ</li> <li>● プロッピー ディスク コントローラ</li> <li>● ⑦ ボート (COM / LPT)</li> <li>● ⑦ 枝穂赤外線 LPT ボート</li> <li>● ⑦ 枝穂赤外線 LPT ボート</li> <li>● ⑦ 枝穂赤小線 COM ボー</li> <li>● ⑦ モデム</li> <li>● ⑦ モニタ</li> <li>● ⑦ モニタ</li> <li>● ⑦ モニタ</li> <li>● ⑦ ホ外線</li> <li>● ⑦ 赤外線</li> <li>● ⑦ 赤外線通信デバイス</li> </ul>	
プロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)	
OK キャンセル	

10.「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。

赤外線シリアル (COM) ポート(	Dプロパティ	? ×
全般 ドライバ		
🛒 仮想赤外線 C	ОМ ポート	
デバイスの種類:	ポート (COM と LPT)	
製造元:	Microsoft #≢≠₽+st	
ハートウエアのハーション: ニデバイスの実能	1 <b>                                    </b>	
このデバイスは正常に挿	が作しています。	
COST / HTTMC		
デリジノスの住田		
	ロファイルで使用不可にする(D)	
	ロンティルで使用する(E)	
		2/1

<u>上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線COMポートを使用することができなくなりますのでご注意</u> <u>〈ださい。</u>

<u>尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順15)は、パソコンを再起動後、手順7</u> 手順8 手順11と進んでください。 11.<u>「仮想赤外線ポート(COM)」</u>に<mark>赤い×印</mark>がついていることを確認()後、<u>「仮想赤外線ポート(LPT)」</u>を 右クリックし、プロパティを開きます。



赤い×印がついていなかった場合は、再度手順9~手順10を繰り返してください。

12.「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします()。

赤外線プリンタ (LPT) ポートのプロパティ	? ×
全般 ドライバ	
の想赤外線 LPT ポート	
デバイスの種類: ボート (COM と LPT) 製造元: Microsoft ハードウェアのバージョン: 情報なし	
ーデバイスの状態 このデバイスは正常に動作しています。	
デバイスの使用 「「「のハードウェア ブロファイルで使用不可にする(D)] 「「すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)	
OK **	2ンセル

上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線 LPT ポートを使用することができなくなりますのでご注意 ください。

<u>尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順15)は、パソコンを再起動後、手順7</u> 手順8 手順13と進んでください。 13. 「仮想赤外線ポート(LPT)」に赤い×印がついていることを確認()後、「赤外線通信デバイス」</u>を右クリックし、プロパティを開きます。



赤い×印がついていなかった場合は、再度手順11~手順12を繰り返してください。

14.「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)」をチェックし、「OK」をクリックします。

赤外線通信デバイスのプロパティ	? ×
全般 ドライバー	
仮想赤外線 LPT ポート	
デバイスの種類:ポート(COMとLPT)	
製造元: Microsoft	
ハートウエアのハーンヨン: 1位単版なし デビイスの小学報知	
このデバイスは正常に動作しています。	
デ <u>バイ</u> スの使用	
のハードウェア プロファイルで使用不可にする(D)	
□ このハードウェア プロファイルから削除する(B)	
ОК	キャンセル

上記の箇所をチェック致しますと、赤外線通信デバイスを使用することができなくなりますのでご注意ください。

15.パソコンの再起動を行います(下記メッセージにより再起動を促されます)。



上記メッセージが表示されなかった場合でも、パソコンの再起動を行ってください。

16.パソコンが起動しましたら、再度デバイスマネージャを開き(手順6 手順7)、「赤外線通信デバイス」に 赤い×印がついていることを確認します( )。

システムのプロパティ ? ×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス
<ul> <li>● 種類別に表示(T)</li> <li>○ 接続別に表示(C)</li> </ul>
<ul> <li>■ ディスクドライブ</li> <li>■ ディスフレイ アダプタ</li> <li>■ ディスク コントローラ</li> <li>■ フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>■ フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>■ フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>■ アレンタ ボート (COM / LPT)</li> <li>■ JRC USB Ports</li> <li>■ フリンタ ボート (LPT1)</li> <li>■ 通信ボート (COM1)</li> <li>■ マウス</li> <li>■ マウス</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ モニタ</li> <li>■ テム線</li> <li>■ アロパティ(B)</li> <li>■ 野(E)</li> <li>■ BIR(E)</li> </ul>
OK キャンセル

「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」がデバイスマネージャ上から消えている場合も あります(赤外線通信デバイスを使用可能にすると現れます)。もし<u>赤い×印</u>がついていなかった場合は、 再度手順13~手順14を繰り返してください。

17.モデムのプロパティを開き、「詳細情報」の取得を行います(手順2~手順6)。

ここで手順6のような詳細情報が取得できた場合はモデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。詳細情報の取得が行えなかった場合は、JRC サポートセンターまでお問い合わせください。

JRC サポートセンター 一般電話から: Tel. 0570-003899 ウィルコムの電話・携帯電話から: Tel. 0422-45-7772 受付時間: 9:00~17:00(土日祝祭日除く)